



強い使命感と責任感を持って 不正に立ち向かう仕事

平田 彬光 Akimitsu Hirata

国税査察官

平成24年採用

査察部 査察第二部門

Q. 現在の仕事内容は？

通称「マルサ」と呼ばれる査察部に所属し、大口・悪質な脱税者に対して、検察当局へ告発し刑事罰を科すことで、一罰百戒の効果を通じて、適正・公平な課税の実現と申告納税制度の維持に資することを目的とした仕事をしています。私は情報担当査察官として、あらゆる情報を収集・分析し、張り込み等の内偵調査を行うことで悪質な脱税者を徹底して調べ上げ、裁判所に対し強制調査に係る許可状の請求を行っています。

内偵調査では、脱税者の心理を想定しながら、尾行・張り込み等を行います。想定外の動きにより振り回されることは多々ありますが、実際に現金等を運んでいる姿を確認し、資産の隠匿場所を突き止めることができたことは、印象に残っている仕事の一つです。



Q. 国税職員の魅力はどこにある？

国税職員として働く中で、多種多様な業種の納税者と接する機会が多く、税務に関わることはもちろんのこと、さまざまな業界についても知識を吸収することができ、人間としても成長を感じられる点に魅力を感じています。

中でも査察部は、国税組織の最後の砦として申告納税制度の維持に努める役割があるので、「絶対に不正を見逃さない」という強い使命感と責任感を持って、日々業務に従事しています。



Q. やりがいを感じるのはどんなとき？

査察部は、悪質な脱税者を立件・告発するに当たり、膨大な時間と労力を使い緻密な情報を分析します。内偵調査中には、脱税者に一切察知されることのないよう細心の注意を払いながら調査を行い、最終的に強制調査を実施しますが、同じ志を持った当部の仲間と共に一体となって調査を進め、自身が担当した事案が新聞報道などをされた時には、苦労が報われ、言葉では表せないほどの達成感を感じます。



メッセージ Message

ワークライフバランス推進についても積極的に取り組んでいるため、男性職員の育児休暇取得率も高く、福利厚生の充実した働きやすい職場です。少しでも「国税」の仕事に興味のある方は、ぜひ国税職員を目指してみてください。そして国税査察官となった皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。